

27 チュウサギ

(ペリカン目)

兵庫県ランク:C

Egretta intermedia

繁殖個体群:C 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

本州、四国、九州では夏鳥、九州の一部と沖縄では冬鳥。河川や沼沢地、農耕地などに生息し、水辺近くの森や藪をねぐらとする。兵庫県では主に3-11月に見られる。小魚類やカエル類、エビ類、昆虫類などの水辺の小動物を捕食する。他のサギ類と樹上で集団営巣する。



写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、(西宮市)、洲本市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、(宝塚市)、三木市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、(宍粟市)、(加東市)、たつの市、稲美町、(福崎町)、香美町、(新温泉町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら・休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

かつては県内各地に広く見られ、コサギより多い個体数が観察され、越冬個体も少なくなかった。繁殖地も各地に存在したが、近年、特に県南部で減少傾向が著しい。サギ類のコロニーが近隣住民から敬遠されること、主な繁殖場所の一つである河川中州の木立や河畔林が河川改修で消滅するなど、その生息環境は危険な状況にある。

保護上の留意点

営巣地となる河畔林、採餌地となるハス田、ため池などの保全が必要。



写真提供:但馬野鳥の会